

川西諭・山崎福寿『金融のエッセンス』

発行所 株式会社有斐閣
2013年12月20日 初版第1刷発行

ISBN 978-4-641-15004-1

©2013, Satoshi Kawanishi, Fukuju Yamazaki, Pined in Japan

ウェブ付録 第3部の QUESTION の解答・ヒント

第3部のQUESTIONの解答・ヒント

第11章 なぜ難しい金融取引

◆210 ページ

QUESTION

将来のことを考えてみよう。

あなたは、20年後どのような仕事、どんな暮らしをしていたいと思いますか？ その仕事をするために、今からどんな準備をしたらよいでしょうか？ 考えてみましょう。

解説 忙しい日々の生活の中では難しいかもしれませんが、一度きりの人生、悔いの残らないような生き方をしたいのであれば、時間をみつけて是非考えてみてほしいと思います。

自給自足の生活をしていた時代や、親の職業を継ぐのが当たり前だった時代には、生き方の選択肢は限られていたので、いかに生きるかで悩む必要はなかったかもしれません。

しかし、現代は高度に社会的分業が進み、職業の選択肢が増え、親と同じ働き方や生き方をする人は少なくなっています。また、日本社会が少なくとも物質的には豊かになったことで、ワークライフバランスを大事にする働き方やボランティア活動などの社会貢献を生きがいとする生き方を選べるようになっていきます。あまり意識していないかもしれませんが、皆さんには多くの選択肢があるのです。

そして、将来のことを考える際には社会の変化も是非考えてほしいと思います。

この本が出版された2013年の20年前、1993年の社会は今とはまったく違う社会でした。まだバブルの余韻が残っていて、株式市場では暴落が始まっていたのですが、いずれ株価が上がるのではないかと楽観的な雰囲気がありました。銀行や証券会社は絶対に倒産しないと多くの人が信じていましたし、深刻な不況が来ると思っている人は少数派でした。企業も新卒学生の採用に積極的で、今では信じられないかもしれませんが、企業が学生を接待するようなこともめずらしくはありませんでした。

働き方も終身雇用が当たり前で、中途採用や非正規社員はめずらしいものでした。

ちなみに、当時はスマートフォンはおろか、携帯電話でさえもまだ普及していません

でした。

こうした社会の変化はまったく予想できないものであったわけではありません。経済学者の中には不況の到来を予想していた人も少なくありませんし、少子高齢化問題や財政赤字の問題、地球温暖化問題などずっと前から予想されていたことも多いのです。

20年後の社会も恐らく今とは全く違ったものになると考えられます。その20年後の社会を予想しながら、その社会の中でどのように働き、暮らし、そして生きていくのか。

簡単なことではありませんが、是非時間をみつけて、できれば真剣に話ができる仲間と一緒に考えてみてください。

第 12 章 なぜバブルは起こるのか？

QUESTION なし